

## 2019年度 事業所における自己評価結果 (公表)

### 児童発達支援事業所まゆみ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	1	2	基準は満たしているが、利用者の増加に伴い感覚的な狭さを感じ、改善が必要。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			基準は満たしているが、増員があればなお良い。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	2	一部視覚支援等している。建屋が古いため、バリアフリーには対応できていない箇所もあるため、必要に応じて改善が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3		毎月の職員会議及び1日の支援の前後の打ち合わせ、その他気が付いた時に随時行っている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			平成30年度より法人HPにて評価結果を掲載。よりよい事業所運営のため、改善を引き続き行っていく。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2		2	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		3	外部評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			事業所内外の研修に参加する機会がある。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			面談を行い、意向を確認している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		入所時等に事業所独自のアセスメントシートを活用している。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1		ガイドラインの内容を職員間でも理解し、支援のねらいを共通認識していく。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4			個別支援計画に則り、個々の課題に合わせた支援を行っている。 担任と作業療法士が相談しながら立案している。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			支援開始前等に職員間で行っている。 出勤体制によって必ず行えるとは限らないため、週のどこかで話し合える時間を設けるなどの改善が必要。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		1	

	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎回、一人一人の日誌を記入し、支援の改善につなげている。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		定期的なモニタリングの実施を徹底していきたい。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など、適任者を選んで出席している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1		子どもセンター、保健センター、障害福祉課等との連携は十分できている。必要に応じて、病院、特別支援学校、他の事業所等と連携している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			保育園等移行時、就学時には、利用児童の様子や支援内容について、情報提供を行い、連携を取っている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1	不定期ではあるが、児童心理士や言語聴覚士など専門職の方を招いて、助言や指導をいただいている。今後、定期的に専門機関の方に来所いただき、支援のアドバイスをさせていただく予定になっている。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4			当事業所自体が、認可外保育園と建屋を共有しているため、日常的に機会がある。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4			部会の開催時には、積極的に参加している。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		連絡帳などで、保護者と伝達している。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	1		個別で対応できている部分もあるが、全体としては不十分な点もあるため、職員の知識を高め、対応していきたい。
保護者への説明責任	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			随時相談に応じているが、適切な助言が行えるよう、知識向上を心がけていきたい。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3		1	
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情や要望に対する対応の体制は整備されている。苦情や要望があった際には速やかに対応するよう努めている。

寺	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			十分注意を払うようにしている。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			個々の状況に応じて、対応している。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		2	地域の方も参加できるイベントがある。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		1	月1回、火災や震災等を想定した避難訓練を実施している。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4			初回面談時に確認している
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		保護者からいただいたアレルギーの情報を職員間で周知し、対応している。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	2	事案が起きたときは、職員間で協議し、記録を作成、保管し、情報の共有、予防に努めていきたい。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			人権擁護、虐待防止に関する研修に参加する機会がある。
	④⑯	<del>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</del>				